

## 第497回 IBC番組審議会

1. 開催 日時 平成17年3月24日(木)午前11時~

2. 開催 場所 IBCホール

3. 委員の出席 委員 総数 14名

出席委員数 12名

出席委員の氏名

委員長 石川 桂司

副委員長 藤原 正紀

委員 阿部 价男 熊谷志衣子 小松 務

坂田 裕一 佐藤潤次郎 中原 志郎

山崎 文子 米谷 春夫 宮澤 徳雄

矢佐 俊幸

欠席委員の氏名 小苅米葉子 吉沢 正則

会社側出席者

小西 隆昭 代表取締役社長

阿部 正樹 代表取締役専務

佐藤 敏行 常務取締役

川島 敬司 常務取締役編成局長

柴田 継家 報道制作局長

藤澤 光 制作部長

事務局

金谷 保彦 番組審議会事務局長

小笠原 勉 番組審議会事務局次長

4. 議 題 『暮らしの安全最前線』

5. 議事の概要

< 委員の主な発言 >

- ・ 警察官・消防署員の日々の厳しい訓練があっこそ、県民生活の安全を守れるんだな、と実感できる番組だった。
- ・ 地域に密着した地道な活動ぶりや、新人警察官の初々しさが印象的だった。レスキュー隊の訓練の様子など、初めて知ることも多く、署員の苦勞をよく理解できた。
- ・ 最近話題になっている運転中の携帯電話の禁止、お年寄りが振り込め詐欺の被害に遭わないためには、など身近な話題も取り上げており、ニュース性もあってよかった。
- ・ 警察官に比べて、消防署員の紹介が少なかった。岩手県は火災で亡くなる方が全国でも多いということなので、消防署だけを取り上げて良かったのではないか。
- ・ 消防の活動が余りにもありふれていて、やや注目度が低いというか、盛り上がり欠けたように思った。
- ・ 緊迫感、臨場感が少し欠けていたように感じた。

< 社側 >

- ・ このタイトルで3本目の番組です。最初は、警察だけ取り上げ、家宅捜索や飲酒運転の検挙など、生々しい緊迫感のある場面を盛り込んで警察官の活動の一端を紹介した。  
2回目は、繁華街の交番などを紹介しながら、夏の犯罪防止という視点で制作しました。
- ・ 警察、消防の協力を得ながら取材を進めました。「こんな場面を撮りたい」「こんな場面を入れて欲しい」など、せめぎ合いというか取捨選択の所で、警察の要望もかなり取り入れた部分もあります。
- ・ 消防署の活動には、火災消火・救急活動がありますが、なかなかその場面が撮れず訓練が中心になりました。次の課題になると思います。